

たるさぽ通信

第18号 R5年1月27日
発行：小樽市福祉総合相談室
「たるさぽ」

みなさんこんにちは。小樽市福祉総合相談室「たるさぽ」です！（以下「たるさぽ」と省略）
私たち「たるさぽ」は、H27年4月1日に小樽市が開設した「仕事」や「生活」などで悩んでいる方の相談支援機関です。専門の相談員がお話を伺い、問題解決のためにサポートします。相談は無料です。

たるさぽ出張相談会を開催しました！

R5年1月13日（金）に、今年度2回目の出張相談会を開催しました。今回は、サンモール一番街にある暖カフェ（ノマド福祉会）にご協力いただき、カフェの一部スペースをお借りして、10：30～12：30まで開催しました。昨年6月にウイングベイで開催した出張相談会から約半年が経ち、今回は事前に広報おたるでの周知や関係機関の皆様へ相談会のお知らせをしたところ、関係機関の方から対応している相談者の方のお話や支援について相談を受けました。市民の方からの相談にはつながりませんでした。引き続き「たるさぽ」の活動を周知していく必要があると実感したところです。

次回は、**R5年3月15日（水）10：30～12：30**に同じく暖カフェにて出張相談会を開催いたします！
気になることや、お困りごとがありましたら、お気軽に足をお運びください。
なお、出張相談会に限らず、電話や来所にていつでも相談を受け付けております。

サンモール一番街 暖カフェ外観



就労準備支援事業に参加し、就労した方へインタビュー

【Cさんの場合】

Cさんは離職してからしばらく時間が経ち、人との関わりやコミュニケーションに不安があったため、就労準備支援事業に参加し、就労支援による企業見学等を経て、就労に至りました。

Q：相談のきっかけは？

A：母から家族が（たるさぽに）世話になったことを聞き、「一緒に行ってみないか」と誘われたので来てみた。

Q：初めて来たときのことは覚えていますか？

A：人前に出るのも久しぶりで、緊張と不安ばかりだった。

Q：就労準備支援事業に参加してみて変わったことは？

A：家から町まで出てくるのは大変だったけど、人と関わることがなかったから、色んな人と関わってしゃべれるようになったのはありがたかった。

Q：働いてみて分かったことは？

A：長年人と話をしていなかったから、相手の言っていることを上手く頭に入れることができないのが今も若干あります。職場の環境（専門用語等）もあるのかもしれないけど…。

Q：今後の「たるさぽ」に求めることは？

A：一人一人が支援員と対面で話す機会が多いと良いと思う。人と話す機会を持つプログラム、例えばグループワーク等を多くした方が、顔と名前を一致させることにつながるのだから良いと思う。あと、体力がないと痛感したので、軽くでもいいから体力づくりのプログラムをもう少し増やした方がよいと思うし、毎日働くことを考えると、（プログラムの開催が）週2回でもいいのかもしれない。

Q：これから相談をしようと考えている方、現在相談している方へのメッセージ

A：6～7年無職だった自分でも働くことができたので、まずは顔を出してみ、そこで「合う」「合わない」を判断するのでいいと思う。親に無理矢理連れられてでもいいから、まずは（たるさぽに）来てみて、行動に移すことがいいと思う。



【Dさんの場合】

Dさんは就労準備支援事業に参加して一度就労しましたが、職場環境のストレスから体調を崩して離職、支援員の提案で再び就労準備支援事業に参加し、自分の働き方について考える機会を持ち、自分に合った仕事を見つけ就労に至りました。

Q：相談のきっかけは？

A：働いたことがなかったから、自分で電話するのはハードルが高かった。人間不信みたいになっていたので、ニートとかの支援をしている番組をテレビで見て、小樽にもあるのかなと思って母親に探してもらったのが一番最初のきっかけです。

Q：相談してみてどうでしたか？

A：正直、想像していたサポートとは違った。その原因は自分がやってほしいことを全部言わなかったから食い違いが出ていたんだと思う。でも、企業に説明をしてくれたり、自分のことをアピールしてくれたり、私のことを相手に伝えてワンクッションになってくれるのは心強いと思った。

Q：就労準備支援事業に参加してみて、変わったことは？

A：今までは相手が自分のことを「伝わっているだろう、わかってくれるだろう」と思っていた。けれど、身勝手でもいいから、ちゃんと伝えないと相手に伝わらないということがわかった。

Q：今後の「たるさぽ」に求めることは？

A：「たるさぽ」で店を経営して、そこで体験をさせてくれたり、仕事をさせてくれるようなシステムがあったら良かったと思う。

Q：これから相談をしようと考えている方、現在相談している方へのメッセージ

A：とりあえず話をしてみたらいいと思う。そこで無理かなって思っても、正直に話をし、妥協できるところとできないところを見極めて、自分で何ができるかを知ったらいいと思う。

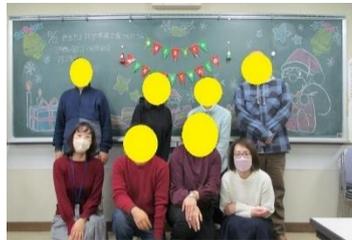


就労準備支援事業～活動紹介

様々な理由によりすぐに就労につくことが難しい方を対象として、就労セミナー、レクリエーション活動、就労体験などを取り入れて、就労に向けた支援を展開しています。「たるさぽ」では、週1回の就労準備支援レクの参加を軸とし、必要に応じて個別プログラムを作成して支援を行っています。

茶話会開催

クリスマスに「茶話会」と称して、準備支援事業参加から就労したOB・OGの方に来てもらい、仕事の様子やアドバイスなどをお話してもらいました。皆さん熱心に耳を傾けて質問されていました。



参加者の作品コーナー

就労準備支援レクの中で制作した作品や、参加者が作成した作品などをご紹介します。



ツリーアレンジメント



デザイン・イラスト



似顔絵

グループワーク・課外活動など

体づくりの他、コロナで中止していた調理レクを再開しました！



調理レク
台湾料理の「割包」を作りました！



ゲームを活用した
コミュニケーション
トレーニング



ノルディックウォーキング

相談員が不在になることがありますので、事前に電話でご予約の上お越しください。



Facebook とアメブロにて日々の活動の様子を随時報告しています！ぜひご覧ください！



アメブロ



Facebook

小樽市福祉総合相談室「たるさぽ」

住所：小樽市花園2丁目12番1号 小樽市役所本館1階

電話：0134-33-1124 / 0134-33-1128

FAX：0134-33-1128

メール：jiritu-sien@city.otaru.lg.jp

Facebook：https://www.facebook.com/tarusapo/

アメブロ：http://ameblo.jp/tarusapo/